

# 課題と対応状況等について

(資材業団体・建設業団体)

H25.5.17

平成 25 年度第 1 回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会

課題と対応状況等について

課題	対応状況等
<p>陸砂利採取跡地の埋め戻し作業が、震災復旧・復興工事の影響により遅れている。また、採取地となる農地は、今年度より圃場整備が始まるので、採取継続の為、採取地の確保が重要である。</p>	<p>埋め戻し作業の遅れは、新規採取認可に影響する為、作業の継続に努力するとともに、期間の猶予を要望したい。 陸・山砂利採取共に現状では増産が見込めない為、今年度より釜房ダム、阿武隈川からの採取を予定している。他の河川についても整備局、又は県と協議の上、検討したい。また、それにより供給量の増加が可能になると思われれるものの、川砂採取を止めてから長期間経過しており、限られた採取期間での新たな設備の設置や整備等に相当の費用が掛かる為、流水占用料等の減免について検討頂きたい。</p>

【別紙様式3】

機関・団体名： 全国コンクリート製品協会東北支部

課題と対応状況等について

課 題	対応状況等
<p>①復興道路関連製品、宅地造成関連製品、農業用製品で第2四半期以降、需給の逼迫が予想される。</p> <p>②骨材等原材料の値上がり、原油・電気料金の値上げ、人件費の上昇等製造コストの増大を吸収しきれなくなっている。</p> <p>③様々な工種でコンクリート製品への転換が検討されておりますが、製品採用の決定が遅くなるほど、経済性、納期で対応が難しい。</p>	<p>①コンクリート製品の種類、数量についてより一層の情報交換を進める。</p> <p>②短期での製品価格の調査および見直しを要望したい。</p> <p>③設計段階からコンクリート製品としていただければ、型枠の適正な手配などでコストダウンが図れるとともに納期への対応も可能となる。</p>